

加須市シルバー人材センター

# 中・長期計画

(平成 28 年度～平成 37 年度)



“世界一大きい” 全長 100m の  
ジャンボこいのぼり！  
毎年 5 月 3 日に利根川河川敷で遊泳します

平成 28 年 3 月

公益社団法人 加須市シルバー人材センター

# はじめに

中・長期計画を策定するとは、5年後、10年後に私たちは「こうなるだろう」と予測することではありません。私たちが「こうしたい」、「こうしよう」という熱い思いを考えることに他なりません。10年後といえば、西暦2025年、団塊の世代も皆後期高齢者になっています。高齢化率は上昇を続けることが予測されるほか、高齢者単身世帯、要支援・要介護認定者、認知症高齢者の増加等への柔軟な対応が求められます。



シルバー人材センターの原点は、「自主・自立、共働・共助」という理念にあります。高齢者が独立の人格として自立し、地域の一員として主体的かつ能動的に社会の形成に参加するための自治的共同体がシルバー人材センターの本質であります。しかも、就業機会を提供することによって、会員一人ひとりには基礎年金並みの所得を得られ、また地域貢献によって住みよい地域社会をつくることは、私達の喜びであり生きがいでもあります。さらに共に働き、共に助け合うことを通して、友情を芽生えさせ、健康の増進にもなるという、欲ばりで贅沢なすばらしい組織であります。実際、平成27年に実施した会員意識調査によると、入会して健康になったという会員が52%、友達ができたという会員は73%、収入にほぼ満足という会員は62%、などとなっています。

加須市シルバー人材センターは地域高齢者の“希望の星”でありたい。このような考えの下、私たちはこの組織をもっともっと大きなものにしていきたい。その目標として二つの数値を掲げます。一つは会員の拡大ですが、それも絶対数ではなく、どれだけの高齢者を組織したか、つまり入会率の向上を図りたい。5年後には入会率2.46%（会員数1,000人）、10年後には2.78%（会員数1,150人）を目指します。もう一つの目標は契約金額です。これはどれだけの地域貢献をしたかを表しています。5年後には4億7,000万円、10年後には5億2,000万円を目指します。そのためには、仕事の幅を広げて多くの人に仕事を提供し、さらに地域のために役立つ仕事を開拓し、もっともっと地域貢献をしたいと思っています。その方策の一端がここに盛られた中・長期計画であります。

もとより忙しい中での作業であり、十分な推考ができていたとは言えませんが、これを土台に今後も見直しを重ねつつ、日々の業務を实践する“バイブル”としていきたい。会員からも、顧客である企業や家庭、行政機関からも、また市民の皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

本計画の策定においては、中・長期計画検討委員会の委員の皆様、ならびに貴重なご意見をいただきました市民及び関係者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

公益社団法人加須市シルバー人材センター  
理事長 高野 勝 良

# 目次

◆ 第Ⅰ章	中・長期計画の策定にあたって	
1	計画策定の趣旨	5
2	計画の基本理念	5
3	計画の策定方針	6
4	計画の基本目標	6
5	計画のフレーム	6
◆ 第Ⅱ章	加須市シルバー人材センターの現状と課題	
1	会員数について	9
2	事業実績について	12
3	運営状況について	14
◆ 第Ⅲ章	基本目標と具体的取組	
1	いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の増強）	17
2	市民生活に深く根ざした仕事づくり（地域社会の活性化）	19
3	安全・健康、笑顔で働く職場づくり（生きがい就労の追及）	21
4	取り組みを支える基盤づくり（運営基盤の強化）	24
◆ 第Ⅳ章	計画の推進に向けて	
1	行政機関等との連携強化	29
2	会員参加による運営	29
3	施設整備事業計画との整合と推進	29
4	計画の見直し	30
◆ 資料関係		
資料 1	加須市シルバー人材センターに関するアンケート調査結果	33
資料 2	中・長期計画検討委員会設置要綱	39
資料 3	中・長期計画策定の経過	40
資料 4	中・長期計画検討委員会委員名簿	41



# 第 I 章 中・長期計画の策定にあたって





## ◆ 1 計画策定の趣旨

少子高齢化が加速する中、本市における高齢化率は、平成27年3月に策定の『加須市高齢者支援計画』によると、平成37年（2025年）には32.3%に達すると見込まれております。

また、高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や一人暮らしの増加、社会保障給付費の増大など社会的な課題も拡大しています。

このような社会情勢において、シルバー人材センター事業は、定年で職場を離れた高齢者等が「福祉の受け手から社会の担い手へ」移行し、就業やボランティア活動を通じて、福祉の向上と地域の活性化に大きく貢献しております。

一方、人口の減少に伴う労働力の低下が懸念され、企業等における高年齢者の継続雇用が拡大するとともに、卓越した知識や経験・技能・技術の活用が一層必要とされ、シルバー人材センターの重要性がこれまで以上に高まってくると思われれます。

当加須市シルバー人材センター（以下、センターという）は、平成22年4月1日に1市3町それぞれのセンターが市町村合併に併せて統合し、新たに誕生いたしました。さらに平成24年4月1日には、公益社団法人の認可を得ております。

平成26年度の実績としては、会員数700人、事業実績3億8,500万円に達し、順調な伸びを示しております。

しかしながら、市民生活に深く根ざした信頼される業務を遂行し、高年齢者の健康で生きがいのある生活を実現するためには、時代の変化に柔軟に対応した事業と運営が必要であると考え、長期的視野から今後の方向性を定めるべく、本計画を策定するものであります。

## ◆ 2 計画の基本理念

シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。

「自主・自立」とは、趣旨に賛同して入会した会員によって自主的に運営される組織であり、「共働・共助」とは、共に助け合いながらセンターの目的を達成しようという趣旨です。ではセンターの目的とは何かといえば、高齢者が働くことを通じて生きがいを得られるようにすることであり、地域ニーズを発掘し、地域のために働き、地域社会の活性化に貢献するということです。

当センターの目的は、定款第3条に次のように書かれています。

定款第3条（目的）

「この法人は、社会参加意欲のある健康な高齢者に対して、地域社会と連携しながら、その希望に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保するとともに、生きがいの充実及び福祉の増進を図り、高齢者の知識、経験及び能力等を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。」

以上、センターの目的を具現化する方策として、計画を策定するものであります。

### ◆ 3 計画の策定方針

「中・長期計画」の策定方針は、次のとおりとします。

(1) 魅力あるセンターを目指します。

高齢期における就業意欲の高揚や就業ニーズに対応するため、多様な就業機会の確保・提供に努めると共に、ボランティア活動を推進するなど魅力あるシルバー事業の展開を図ります。

(2) 会員等の意見を反映します。

計画の策定にあたっては、中・長期計画検討委員会における意見を踏まえると共に、センター主催の地域懇談会や会員・事業者等からのアンケート等、意見を計画に反映させることとします。

(3) 既策定のシルバー施設整備事業計画を取り入れた計画とします。

平成26年度に策定し、平成27年度に改定された施設整備事業計画を考慮した内容とします。

### ◆ 4 計画の基本目標

このような新たな役割の認識のもと、下記の4項目を、基本目標とします。

- 1 いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の増強）
- 2 市民生活に深く根ざした仕事づくり（地域社会の活性化）
- 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり（生きがい就労の追及）
- 4 取組みを支える基盤づくり（運営基盤の強化）

### ◆ 5 計画のフレーム

(1) 計画期間

平成28年度から平成37年度までの10年間とする。

但し、社会経済情勢等の変化を勘案して、計画期間中であっても適宜見直しを行う。

(2) 計画の数値目標

項目	平成26年度 (実績値)	平成27年度	前 期			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
会員数(人)	700	750	800	850	900	950
入会率(%)	1.83	1.95	—	—	—	—
契約金額(千円)	385,899	400,000	414,000	428,000	442,000	456,000

項目	前 期		後 期			
	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
会員数(人)	1,000	1,030	1,060	1,090	1,120	1,150
入会率(%)	2.46	—	—	—	—	2.78
契約金額(千円)	470,000	480,000	490,000	500,000	510,000	520,000

※入会率が未記入(「—」表記)の理由は、計算の根拠である国立社会保障、人口問題研究所による平成25年3月推計値で年齢別人口推計値がH27、H32、H37しか示されていないため。



## 第Ⅱ章 加須市シルバー人材センターの現状と課題







# ◆ 1 会員数について

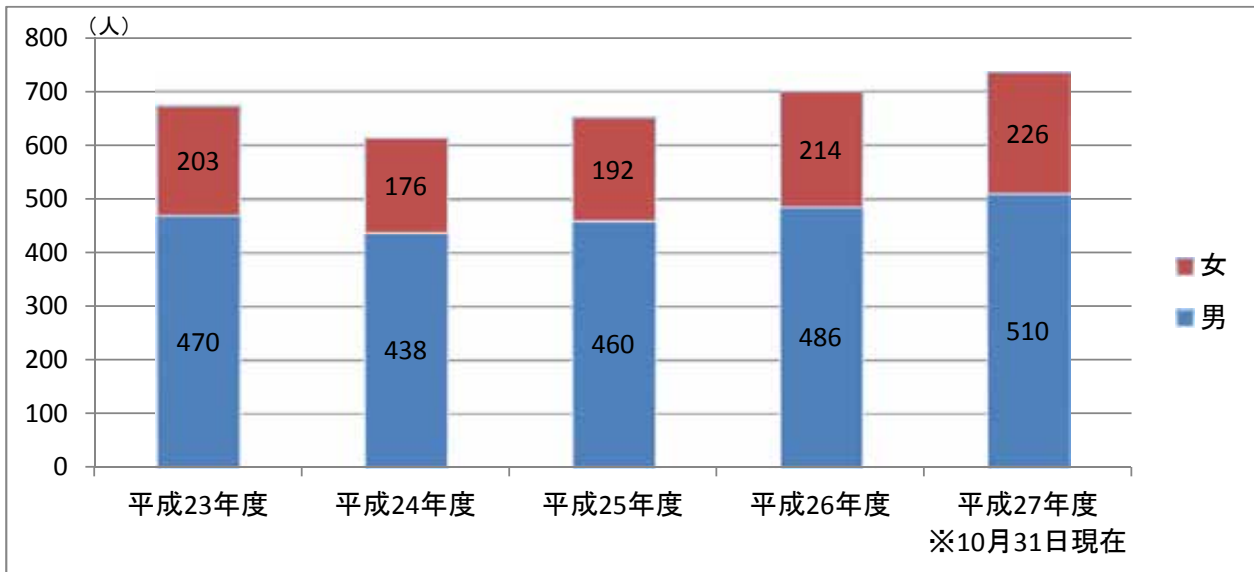
## 現 状

会員数は、平成 23～24 年度は減少したが、その後は緩やかに増加傾向に転じています（図表 2-1）。

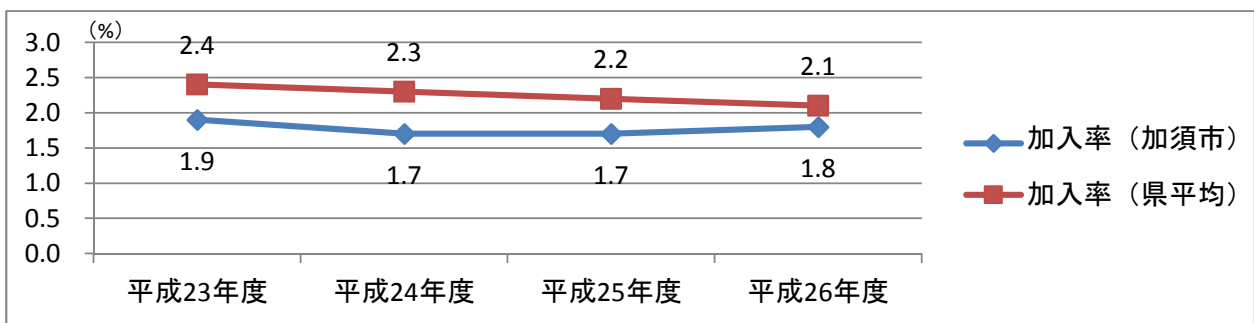
平成 26 年度加入率は県平均 2.1%を下回る 1.8%であります（図表 2-2）。

なお、会員の年齢構成は、60 歳代後半が 33.8%、70 歳代前半が 30.6%を占め（図表 2-4）、平均年齢は、男性 71.4 歳、女性 70.9 歳となっております（図表 2-5）。

図表 2-1 会員数（男女別）



図表 2-2 加入率（県平均比較）



図表 2-3 加須市 60 歳以上の人口

（単位：人）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 ※ 10 月 31 日現在
加須市人口	117,100	116,142	115,425	114,748	114,440
加須市人口 （60 歳以上）	35,665	36,650	37,451	38,249	38,615

※毎年約 0.5%減少↓

※毎年約 2.0%増加↑

※加須市年齢別人口調査より抜粋

図表 2-4 会員の年齢構成（平成 27 年度）※ 10 月 31 日現在

（単位：人）

区分	64 歳以下	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 歳以上	計
男	45	170	163	132	510
女	32	79	62	53	226
合計	77	249	225	185	736
構成比（％）	10.5	33.8	30.6	25.1	100.0

図表 2-5 会員の平均年齢

（単位：歳）

区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 ※ 10 月 31 日現在
男	70.6	70.8	71.1	71.4	71.4
女	70.8	71.3	70.9	71.0	70.9
全体	70.7	71.0	71.1	71.2	71.3

## 課 題

加須市の人口は、毎年約 0.5%の減少傾向にあり、逆に 60 歳以上人口は毎年約 2%の増加傾向にあります。

（図表 2-3）さらに社会情勢では定年の引き上げ・労働力不足もあって、企業は高齢者を引き続き雇用する傾向があり、シルバー人材センターへの入会が減少しつつあります。

アンケート調査結果（P35「④入会後の健康面について」参照）によると、会員入会後に健康状態が「良くなった・やや良くなった」との回答が半数以上を占めていることから、会員になって仕事をすることにより、介護予防などに繋がっていることを PR することが大切であります。

さらにアンケート調査結果（P34「①何をきっかけに入会したか」参照）によると、入会への経緯は「市の広報紙を見た」が大半を占めているが、さらに多様な広報活動を積極的に展開していく必要があります。

## 【参考】 埼玉県内の加入率等

(平成 27 年 3 月 31 日現在、加入率順)

	センター名 (略称)	会員数 (人)	市町村 60 歳以上 人口 (人)	加入率 (%)
1	長瀬町	151	3,109	4.9
2	新座市	2,330	48,406	4.8
3	皆野町	205	4,316	4.7
4	ときがわ町	206	4,915	4.2
5	坂戸市	1,349	33,521	4.0
6	吉見町	290	7,265	4.0
7	横瀬町	126	3,268	3.9
8	嵐山町	257	6,773	3.8
9	小鹿野町	184	5,225	3.5
10	秩父市	835	24,686	3.4
11	鳩山町	217	6,706	3.2
12	草加市	2,134	70,288	3.0
13	ふじみ野市	987	32,934	3.0
14	神川町	140	4,761	2.9
15	朝霞地区	1,871	69,429	2.7
16	三郷市	1,166	43,073	2.7
17	鶴ヶ島市	601	22,044	2.7
18	三芳町	336	12,283	2.7
19	川島町	214	7,922	2.7
20	吉川市	496	19,188	2.6
21	入間市	1,236	48,589	2.5
22	富士見市	787	31,496	2.5
23	小川町	320	13,034	2.5
24	松伏町	242	9,628	2.5
25	美里町	104	4,147	2.5
26	川越市	2,584	108,161	2.4
27	狭山市	1,266	53,454	2.4
28	毛呂山町	305	12,970	2.4
29	伊奈町	280	11,885	2.4
30	越生町	112	4,744	2.4
31	深谷市	1,110	47,620	2.3

	センター名 (略称)	会員数 (人)	市町村 60 歳以上 人口 (人)	加入率 (%)
32	蓮田市	509	22,451	2.3
33	杉戸町	385	16,427	2.3
34	寄居町	301	12,911	2.3
35	所沢市	2,371	106,021	2.2
36	東松山市	656	29,499	2.2
37	戸田市	578	26,607	2.2
38	桶川市	548	24,974	2.2
39	熊谷市	1,391	66,565	2.1
40	日高市	427	20,390	2.1
41	幸手市	423	19,943	2.1
42	上里町	200	9,576	2.1
43	上尾市	1,411	69,691	2.0
44	八潮市	486	23,949	2.0
45	白岡市	332	16,264	2.0
46	久喜市	987	52,590	1.9
47	鴻巣市	735	39,510	1.9
48	蕨市	402	20,866	1.9
49	加須市	700	38,249	1.8
50	本庄市	457	25,858	1.8
51	羽生市	317	18,881	1.7
52	北本市	379	23,582	1.6
53	さいたま市	5,005	347,868	1.4
54	川口市	2,303	161,740	1.4
55	春日部市	1,171	81,087	1.4
56	滑川町	141	9,854	1.4
57	越谷市	1,313	98,364	1.3
58	飯能市	360	28,607	1.3
59	行田市	342	29,437	1.2
60	宮代町	155	12,463	1.2
61	東秩父村	0	1,420	0.0

※平成 26 年度シルバー人材センター事業「統計年報」参照

## ◆ 2 事業実績について

### 現 状

平成 23 年度以降、受託件数は順調に伸び続け、平成 26 年度では 6,267 件に達しました（図表 2-6）。

契約金額は平成 24 年度、平成 25 年度にかけ若干減少しましたが、平成 26 年度から増加傾向に転じています。平成 26 年度の実績は公共が約 3 割、一般企業が約 5 割、個人・家庭が約 2 割と約半分が会社関係で占められており（図表 2-7）、職群別では一般作業群（草取、草刈や会社軽作業）が約 7 割、技能群（植木・表装表具等）が約 2 割を占めており、この 2 つの作業で受注額のほとんどを占めています。（図表 2-8）。

ただし、会員数が就業状況に追いついていないため、繁忙期には作業 2～3 ヶ月待ちという状況です。

図表 2-6 受託件数と契約金額

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
受託件数 (件)	5,750	5,809	5,968	6,267	5,909
就業延人員 (人日)	84,413	83,775	80,615	85,543	87,023
就業率 (%)	96.38	102.61	92.64	90.86	93.06
契約金額 (千円)	376,005	366,259	365,716	385,898	406,511

図表 2-7 公共・民間別事業実績

(単位：千円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度		
	契約金額	契約金額	契約金額	契約金額	契約金額	比率 (%)	
公 共 事 業	130,367	126,753	124,203	127,667	146,955	36.15	
民 間 事 業	一般企業等	175,272	170,403	167,182	182,871	183,629	45.17
	個人・家庭	70,222	69,047	74,266	75,304	75,872	18.66
	独自事業	143	55	64	55	55	0.02
合 計	376,004	366,258	365,715	385,897	406,511	100.00	

※主な職種

○公共事業  
(放置自転車の整理、公園・施設等の清掃・管理、広報紙配布など)

○一般企業等  
(除草、清掃、軽作業、植木剪定など)

○個人・家庭  
(除草、植木剪定、表装表具等、農作業、清掃、家事手伝いなど)

○独自事業  
(実用書道教室)

図表 2-8 職群別事業実績

(単位：千円)

	平成 23 年度 契約金額	平成 24 年度 契約金額	平成 25 年度 契約金額	平成 26 年度 契約金額	平成 27 年度	
					契約金額	比率 (%)
技 術 群	44	55	60	60	55	0.01
技 能 群 (植木・表装表具等)	60,274	69,680	67,760	71,143	67,647	16.64
事務整理群	3,639	1,576	1,742	243	4,140	1.02
管 理 群 (施設の管理、公園等)	16,394	16,978	18,098	18,202	20,615	5.07
折衝外交群	4,913	3,269	2,187	2,057	7,634	1.88
一般作業群 (草取・草刈・会社軽作業等)	285,622	270,870	272,625	290,648	283,119	69.65
サービス群	5,020	3,829	3,224	3,542	23,300	5.73
そ の 他	96	0	17	40	1	0
合 計	376,002	366,257	365,713	385,895	406,511	100.00

## 課 題

受託件数及び契約金額の実績を伸ばすためには、新たな会員の獲得や就業率及び仕事の質の向上が必要不可欠となります。

アンケート調査結果 (P36「②センターに発注した理由は」参照) によると、「他社より安価だから」や「仕事内容が信頼できる」などの評価をいただいている。さらに「センターの利用料金」や「就業した会員の対応」、「センターの職員の対応」についても「満足である・やや満足である」が約 9 割を占めており、ほとんどのお客様に満足していただいている状況であります。

(P37「⑥今後もセンターを利用してみたいと思いますか」) に対しても約 8 割以上がリピートする状況であるが (P37「⑦センターへのご意見・ご要望をお聞かせください」) では「仕事の質を高める」や「スピードある対応」などに要望があり、特に作業でお待たせしている状況などには、余裕のある会員が出向いて応援するなどの地域間就業の促進が求められています。また事務処理での見積書提出・請求書発行が遅れている状況などには、従来 of 体制の見直しを図り、事務効率のスピード化を検討し、改善する必要があります。

### ◆ 3 運営状況について

#### 現 状

シルバー人材センターの自立的経営が求められる中、公益社団法人に移行した当センターは、公共的・公益的な役割を再認識し、さらに透明性の高い運営を通して、引き続き市民からの信頼を得られなければなりません。

当センターは平成26年度に「施設整備事業計画」を策定し、センター事業を支える基盤づくりの一環として「施設整備事業積立資金」を設置しました。この計画を遂行するための財源確保をし、財政運営の健全化を推進しています。

図表 2-9 経常増減額の推移

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(推計)	平成28年度(推計)	平成29年度(推計)	平成30年度(推計)
受託事業収益	376,005	366,259	365,716	385,899	406,510	-	-	-
受取補助金等	55,186	52,000	48,520	43,588	40,130	-	-	-
受取会費	2,918	3,118	3,347	3,462	4,518	-	-	-
経常収益計	434,109	421,377	417,583	432,949	451,158	0	0	0
支払配分金	323,859	316,008	310,288	329,555	344,897	-	-	-
その他経常費用	92,157	82,493	84,682	88,351	90,542	-	-	-
経常費用計	416,016	398,501	394,970	417,906	435,439	0	0	0
経常増減額	18,093	22,876	22,613	15,043	15,719	0	0	0

図表 2-10 施設整備事業積立資金の推移

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(推計)	平成28年度(推計)	平成29年度(推計)	平成30年度(推計)
前期繰越額	-	-	0	39,000	62,678	65,085	72,682	4,582
積立額	-	-	39,000	26,000	15,000	15,000	12,000	9,000
取崩額	-	-	0	2,322	12,593	7,403	80,100	15,040
翌期繰越額	-	-	39,000	62,678	65,085	72,682	4,582	△ 1,458

図表 2-11 遊休財産額の推移

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(推計)	平成28年度(推計)	平成29年度(推計)	平成30年度(推計)
純資産額	96,375	119,251	145,327	162,566	178,148	-	-	-
固定資産額	4,794	2,470	2,511	6,492	18,234	-	-	-
特定資産額	40,434	40,434	79,434	101,767	104,174	-	-	-
遊休財産額	51,147	76,347	63,382	54,307	55,740	-	-	-

※遊休財産額はいずれの年度も、保有限度額である事業費の額を超えてはいない。

#### 課 題

##### ○財政基盤の強化

事業内容及び経常経費の見直しを行い、安定した財政基盤を確保する。さらには最低賃金を考慮した配分金単価や経済情勢に応じた事務費の見直しなどに努める。

##### ○組織体制の整備

部会の設置や、各種委員会の拡充をすることにより、理事や会員らが中心になって事業運営に反映できる体制づくりを推進する。

##### ○施設整備事業計画の推進

本部事務所取得やシルバーサロン新設工事など平成30年度までの計画スケジュールがあり、着実に実施していけるよう財源確保に努める。



### 第Ⅲ章 基本目標と具体的取組







## ◆ 基本目標 1 いきいきと元気で働く仲間づくり（会員の増強）

国の「再チャレンジ支援総合プラン」では、2010年（平成22年度）までにシルバー人材センターの会員数100万人とする計画が策定され、目標としてきました。以降、（公社）全国シルバー人材センター事業協会では、平成29年度までに「会員100万人達成計画」について推進することとされ、これを受けて、埼玉県シルバー人材センター連合では、平成29年度の県内の会員数を51,900人とする事業推進計画を策定しています。

当センターとしても、この計画に沿った会員増強を図ることとし、計画最終年度平成37年度は「会員数1,150人」を目標値とします。（P6「計画の数値目標」参照）

また、我が国の高齢化の現状から見えてくる、高齢者世帯への家事援助、働く女性への子育て支援など、今後需要拡大に繋がる地域密着型の事業展開を図ります。

### 具体的取組

#### (1) 新規事業の展開による、会員活躍の場の拡充

新規事業の展開は会員活動の場を広げるとともに、新たな会員の掘り起こしが、会員の増強に繋がります。

- ・新会員の確保

#### (2) 会員の育成

##### ① 新入会員の研修

- ・定期的に新入会員の研修

##### ② 技能アップ研修の充実

- ・外部講師による技術・技能講習会の開催

##### ③ 会員による技術の伝達（後継者の育成）

- ・技能見習制度の導入

##### ④ 班長会議の充実

- ・職群班長会議（年2回～）
- ・地域別職群班長会議（年2回～）
- ・地域班長会議（適宜）

##### ⑤ 表彰制度及び報奨制度の拡充

- ・職群班表彰（安全就業他）
- ・ポイント制度導入（会員の士気高揚につなげる）

(3) 普及啓発活動

- ① シルバーだより
  - ・全世帯配布（目標年2回）
- ② 市民まつり等への参加、PR活動
  - ・紹介パネルの作成、臨時入会説明会、パンフレット配布
- ③ ポスター作成、看板の設置、会員募集広告
  - ・行政関係機関及び、商業施設等に協力依頼
  - ・市、広告用封筒作成
  - ・センター車両に会員募集のマグネットを張付
- ④ 会員による声掛け運動
  - ・口コミによる入会促進
- ⑤ 各種団体との連携強化
  - ・地域団体、経済団体、女性団体や老人会等の集まる会合に出席し情報の収集、発信
- ⑥ ホームページの充実
  - ・センターの魅力や事業紹介等の内容を充実

■いきいきと元気で働く仲間づくり

※-----準備・計画  
 ※———実施

主な取り組み	実施時期	
	前期 平成28年度～平成32年度	後期 平成33年度～平成37年度
(1) 新規事業の展開による、会員活躍の場の拡充		
新会員の確保	———→	
(2) 会員の育成		
①新入会員への研修	———→	
②技能アップ研修の充実	-----→	
③会員による技術の伝達	-----→	
④班長会議の充実	———→	
⑤表彰制度及び報奨制度の充実	-----→	
(3) 普及啓発活動		
①シルバーだより	-----→	
②市民まつり等への参加、PR活動	———→	
③ポスター作成、看板の設置、会員募集広告	-----→	
④会員による声掛け運動	-----→	
⑤各種団体との連帯強化	-----→	
⑥ホームページの充実	———→	

## ◆ 基本目標 2 市民生活に深く根ざした仕事づくり（地域社会の活性化）

新たな就業先の開拓はシルバー事業の発展を図る上で、大きな柱の一つとなっています。

現在、順調に伸びている業績も「中・長期計画」で目指す会員増強に対応するため、新たな就業先を確保することが課題となります。従来の就業開拓を維持しつつ、今後は会員の能力に見合った就業先、新規事業の開拓、会員一人ひとりの意識向上、就業先へのスピードある対応などが、更なる就業機会の確保に通じると思われます。

### 具体的取組

#### (1) 既存事業の見直し

- ・ 消毒、除草剤散布の再検討（安全に配慮）
- ・ 機械導入による作業の効率化

#### (2) 新規事業の展開

- ① シルバーサロン事業（ミニデイサービス、カルチャースクール等）
  - ・ 地域高齢者の介護予防、交流の場としてのミニデイサービス・筋力アップトレーニング
  - ・ 市民参加型のカルチャースクール
- ② ふるさと空き家管理事業（地域就業機会創出拡大事業）
  - ・ 空き家等の班編成
  - ・ 市、商工会と空家等の適正管理に関する協定書締結
- ③ 生活支援・介護予防サービス事業
  - ・ 介護予防、認知症サポーター養成などの研修を行い地域で活躍する人材の育成し就業につなげる。
  - ・ 生活支援班の編成
- ④ 農作業支援事業
  - ・ 知識・経験・技術を活用して、繁忙期農家の援助
- ⑤ シルバー祭り事業
  - ・ 会員の作品展、イベント、模擬店、市民のみなさんとのふれあい
- ⑥ シルバー農園事業
  - ・ 農地を借用し、野菜を育て、販売する。

#### (3) 派遣事業の推進

業務内容により効果的と見込まれる場合は、派遣事業による就業機会の拡充を進めるとともに、派遣先の開拓に努めます。

#### (4) シルバー事業の周知による就業機会の拡充

会員の普及啓発活動と表裏一体ですが、企業訪問、挨拶まわり、事業の紹介等を継続的に行うことによって就業機会の拡充に努めます。

図表 3-1 派遣目標値【参考】 (平成 27 年度 2,400 人日 15,000 千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
就業延人員 (人日)	2,450	2,500	2,500	2,600	2,600
派遣契約額 (千円)	15,500	16,000	16,000	16,500	16,500

	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	平成 37 年度
就業延人員 (人日)	2,650	2,650	2,700	2,750	2,800
派遣契約額 (千円)	17,000	17,000	17,500	18,000	18,500

## ■市民生活に深く根ざした仕事づくり

※-----準備・計画

※———実施

主な取り組み	実施時期	
	前期 平成 28 年度～平成 32 年度	後期 平成 33 年度～平成 37 年度
(1) 既存事業の見直し		
①消毒、除草剤散布の再検討	———	
②機械導入による作業の効率化	———	———
(2) 新規事業の展開		
①シルバーサロン事業	-----	———
②ふるさと空き家管理事業	-----	———
③生活支援・介護予防サービス事業	-----	———
④農作業支援事業	-----	———
⑤シルバー祭り事業	-----	———
⑥シルバー農園事業	-----	———
(3) 派遣事業の推進		
派遣事業による就業機会の拡充	———	———
(4) シルバー事業の周知による就業機会の拡充		
企業訪問、挨拶まわり、事業の紹介等	———	———

## ◆ 基本目標 3 安全・健康、笑顔で働く職場づくり（生きがい就労の追及）

会員の健康や安全就業を徹底するため、健康管理の啓発や就業現場のパトロールを強化するとともに、安全管理委員会や職群班長会議において周知し、事故防止や意識高揚を図ります。また、適正就業の推進を図り、就業機会の均等化に努めます。

### 具体的取組

#### (1) 安全意識の徹底

- ①安全講習会の実施（草刈機・チェーンソー、自動車・自転車等）
  - ・参加・実践型の高齢者交通安全教室（自動車、自転車）
  - ・草刈機講習会（肩掛け・乗用）、チェーンソー講習会等
- ②臨時情報等の提供
  - ・文書による事故情報の周知
  - ・電話連絡等による気象情報の伝達（ゲリラ豪雨、地震等）
- ③巡回パトロールの充実
  - ・地域巡回指導の他、臨時巡回指導の実施
  - ・『巡回指導チェックリスト』を活用し、就業者（作業会員）と安全に対する認識確認を行う。
  - ・事故発生防止の観点から『レッドカード制度』導入を検討
- ④就業別チェックリストの徹底
  - ・就業前に必ず『安全就業チェックリスト』を確認する。
- ⑤『ヒヤリハット事例集』の作成

#### (2) 適正就業の推進

- ①適正な就業形態の確保
  - ・適正な就業形態の選択
  - ・契約内容及び就業状況の把握
  - ・自主点検表などを活用し精査、確認
- ②□-テーション就業の推進（同就業先への長期就業者が対象）
  - ・ワークシェアリングの推進（仕事の分かち合い）
- ③地域間就業の推進
  - ・依頼業務へのスピーディな対応を図るため地域を超えた就業を推進

(3) 健康管理の促進

①健康運動・介護予防への誘導

- ・作業前の『安全就業チェックリスト』内に軽い体操等を項目に入れ、推進する。
- ・筋力アップトレーニング、脳トレーニング

②健康チェックの勧奨

- ・市が実施する特定健診の勧奨
- ・『会員状況調査票』による健康チェック

(4) 生きがい支援

①地域社会との交流・支え合い（シルバーサロン事業－再掲－）

- ・シルバーサロンでの喫茶並びにカルチャースクールの会場提供
- ・会員主体のサークル活動へのサポート

図表 3-2 事故件数の推移

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
傷害事故	埼玉県	件数	310	292	295	304	286
		年間就業延人員（人日）	5,372,666	5,143,597	5,008,196	4,920,145	4,937,962
		就業延人員 1,000 人日 当たり事故発生件数	0.058	0.057	0.059	0.062	0.058
	加須市	件数	10	7	7	4	8
		年間就業延人員（人日）	96,189	84,413	83,775	80,615	85,543
		就業延人員 1,000 人日 当たり事故発生件数	0.103	0.082	0.083	0.049	0.093

$$\text{※ 就業延人員 1,000 人日 当たり事故発生件数} = \frac{\text{事故者数}}{\text{年間就業延人員}} \times 1,000$$

## ■安全・健康、笑顔で働く職場づくり

※-----準備・計画

※———実施

主な取り組み	実施時期	
	前期 平成28年度～平成32年度	後期 平成33年度～平成37年度
(1) 安全意識の徹底		
①安全講習会の実施(自動車・自転車等)	———→	
②臨時情報の提供	———→	
③巡回パトロールの充実	———→	
④就業別チェックリストの徹底	———→	
⑤『ヒヤリハット事例集』の作成	-----→	
(2) 適正就業の促進		
①適正な就業形態の確保	———→	
②ローテーション就業の拡充	———→	
③地域間就業の促進	-----→	
(3) 健康管理の促進		
①健康運動・介護予防	-----→	
②健康チェックの勧奨	———→	
(4) 生きがい支援		
①地域社会との交流・支え合い (シルバーサロン事業-再掲-)	-----→	



## ◆ 基本目標 4 取組みを支える基盤づくり（運営基盤の強化）

新たに中・長期計画を策定し更なる発展を目指すため、要となる運営基盤の強化（財政基盤の強化、組織体制の整備、施設整備事業計画の推進等）を図ります。

女性会員が3割を占める現状において女性理事の登用は、家事援助サービス等、シルバー事業に大きな効果をもたらすものであります。また各種専門委員会はシルバー会員による運営比重を高めていく大きな一歩になっていくものと思われまます。

### 具体的取組

#### (1) 財政基盤の強化

- ①事業内容及び経常経費の見直し
- ②高年齢者就業機会確保事業費等補助金、運営費補助単価格付けのランクアップ（就業延人日・会員数）

#### (2) 組織体制の整備

- ①特別会員・賛助会員制度の見直し
- ②部会の設置（企画戦略部会・総務部会・事業部会等）  
理事会の下に部会を設置し、理事が中心となって協議する機関
- ③各種委員会の拡充（安全管理委員会・広報委員会等）  
部会の下に各種委員会を設置し、理事及び会員が中心となって協議する機関
- ④地域班、職群班の拡充  
新たな職群班を設置、班長役割の明確化及びその実践を図る
- ⑤事務局体制の充実  
会員及び発注者の利便性に配慮した効率、効果的な事務局体制の確立

#### (3) 施設整備事業計画の推進

施設整備はセンター事業を支えるものであり会員の基盤（財産）であります。  
平成30年度までのスケジュールどおり、着実に実施します。

※ P30 施設整備事業計画の整備スケジュール参照

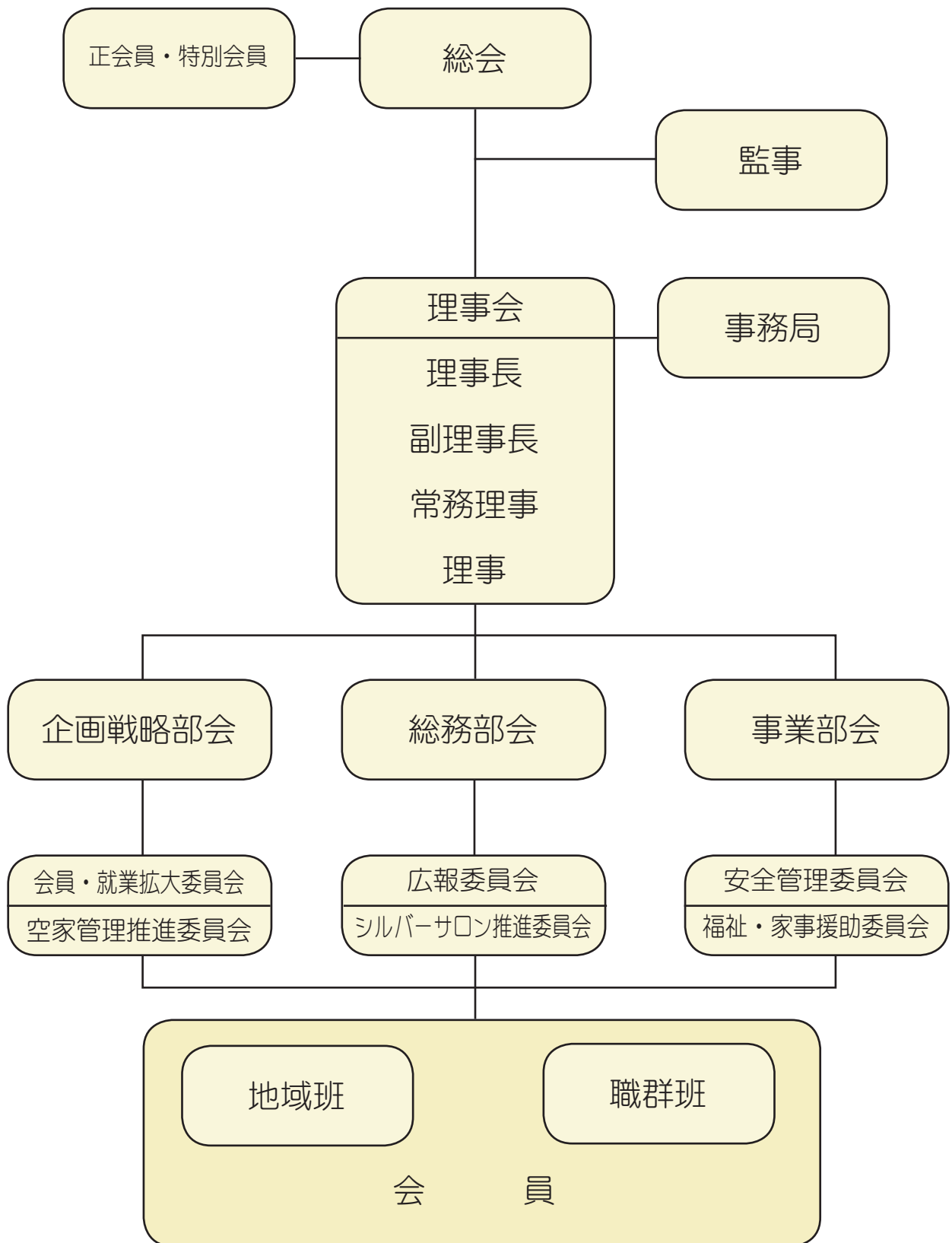
## ■取組みを支える基盤づくり

※-----準備・計画

※———実施

主な取り組み	実施時期	
	前期 平成28年度～平成32年度	後期 平成33年度～平成37年度
(1) 財政基盤の強化		
①事業内容及び経常経費の見直し	———	———
②運営費補助単価格付けのランクアップ (就業延人日・会員数)	———	———
(2) 組織体制の整備		
①特別会員・賛助会員制度の見直し	-----	———
②部会の設置 (企画戦略部会・総務部会・事業部会等)	-----	———
③各種委員会の拡充 (安全管理委員会・広報委員会等)	-----	———
④地域班、職群班の拡充	———	———
⑤事務局体制の充実	———	———
(3) 施設整備事業計画の推進		
平成30年度までの整備スケジュールの実施	———	

図表 3-3 加須市シルバー人材センター組織図（イメージ）





## 第IV章 計画の推進に向けて





## ◆ 1 行政機関等との連携強化

社会経済の変化に対応するため、加須市をはじめとする行政機関や関係機関また、各種団体と連携し幅広い分野において事業の展開を図ります。

### (1) 行政機関との連携

センターと加須市、埼玉県とは、地域社会の発展、高齢者の生活の充実など、土俵と目標を同じくする存在であります。また、地方公共団体は市民ニーズをはじめ地域に関するさまざまな情報を把握していることから随時情報交換を行うなど、センター事業全般にわたり連携していく必要があります。

### (2) 関係機関との連携

埼玉県シルバー人材センター連合等上部団体と、各種事業や情報の収集、事業の協調実施を進めるほか、一般労働者派遣事業の実施についても積極的に推進を図ります。また、シルバー事業について理解を得るために、ハローワークに来所した求職者に対するリーフレットの配布や反対に情報の提供を受けることにより、就業開拓・開発に結びつけられるよう努めます。

### (3) 各種団体との連携

地域団体や経済団体と連携するとともに、女性団体や老人会等の集まる会合等に出席し、情報の収集・発信に努めます。

## ◆ 2 会員参加による運営

計画の実現を円滑に効果的に進めるためには、会員が事業に積極的に参加することが大切です。そのため、センターに関する情報はシルバーだよりや会員通信で送付するほかホームページにも掲載し可能な限り会員に発信します。

また、地域懇談会や職群班長会議・地域班長会議等での意見や要望等を部会や委員会等で協議し事業推進に役立てていきます。

## ◆ 3 施設整備事業計画との整合と推進

センターでは、平成 26 年度に今後継続してシルバー事業を進めていくため、土地の取得をはじめ老朽化した事務所の改修を含めた施設整備事業計画を策定しました。

本事業の基本コンセプトとして

1. 自立した法人経営と基盤の拡大
2. 就業拡大を見込める施設
3. 会員研修等に適した施設及び駐車場の確保
4. 地域に開かれた施設

を掲げ事業の推進を図って参りました。中・長期計画では、部門計画との整合と計画の推進に努めます。

## ■施設整備事業計画の整備スケジュール

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
①本部事務所取得 (土地、建物)				○	
②敷地土留工事	●				
③作業所新築工事		●			
④倉庫・駐輪場新設工事 (解体工事含む)			○		
⑤本部事務所改修工事			○		
⑥駐車場・外構・緑地 (植栽)整備工事					○
⑦シルバーサロン新設工事				○	

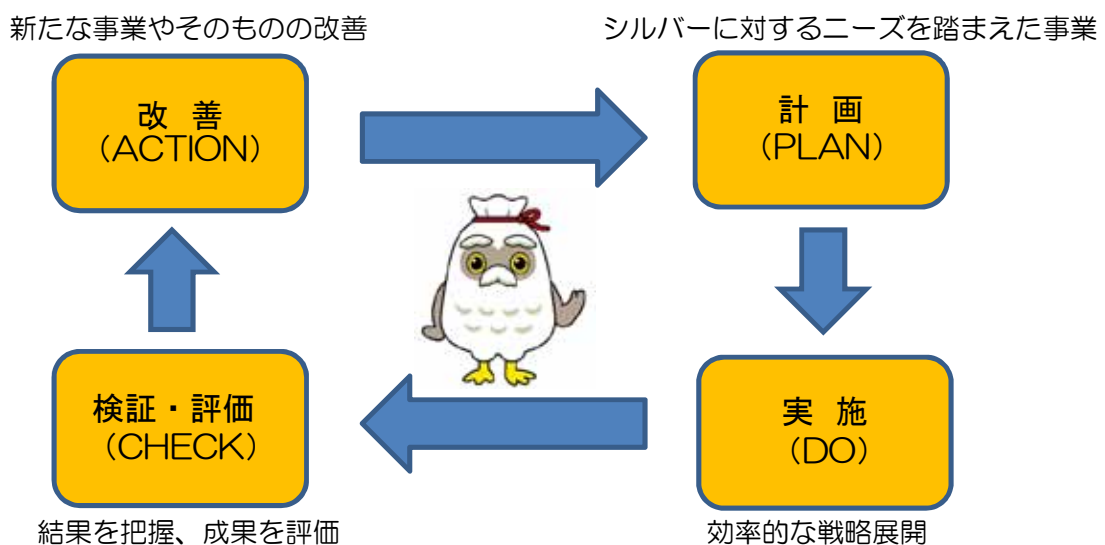
※ ●完了 ○計画

## ◆ 4 計画の見直し

高齢者の雇用の安定等に関する法律の改正により、定年の引き上げや継続雇用制度の導入が図られたことや、シルバー人材センターが一般労働者派遣事業に参入すること、また介護保険法の改正などによりセンターを取巻く環境は今後も変化するものと思われます。本計画は平成 37 年度を最終年度としておりますが、国の施策をはじめ市民ニーズや意見・提言を取り入れるとともに、『KAZO チェブクローマネジメントサイクル(仮称)』による計画の達成状況を踏まえて見直してまいります。

### ■計画の点検・評価の手順イメージ

#### KAZO チェブクローマネジメントサイクル(仮称)



※チェブクローは、シルバー人材センターのキャラクター(H27.6 全国シルバー総会で発表)



# 資料 關係







## 加須市シルバー人材センターに関するアンケート調査結果

### 調査の目的

この調査は、センターの事業について、会員及び発注者、未発注者の理解度を把握すると共に、発注者のニーズに対応できる体制づくり、また、今後のセンターの事業運営に反映させることを目的に実施した。

### 対象者

- ① 会員 ※退会会員は含めない
- ② 発注者（個人・法人）※センターをご利用になったお客様
- ③ 未発注者（個人・法人）※センターをご利用したことがないお客様

### 調査方法

上記対象者へアンケート調査票を郵送、回答は無記名とした。事業所、個人関係は郵送、会員は地域班で対応した。返送は、郵送（受取人払い）、FAX 受付とした。

### 調査期間

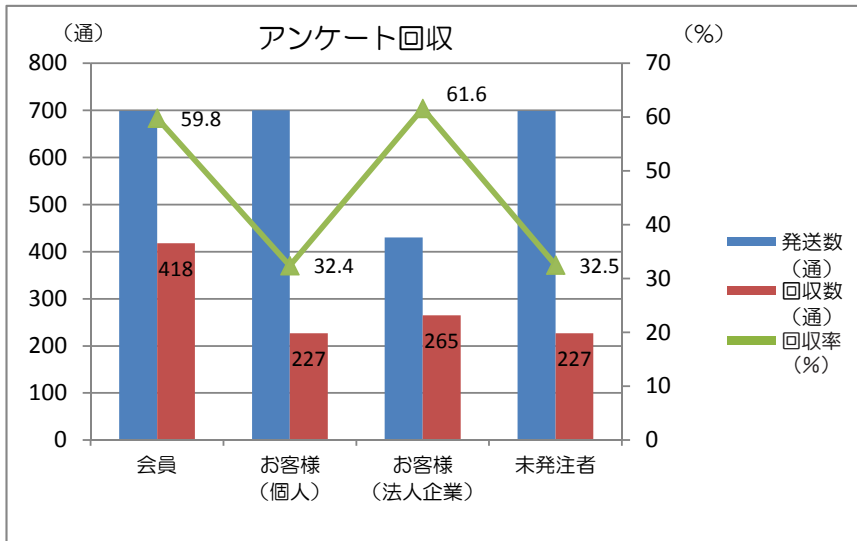
平成 27 年 8 月 17 日～9 月 11 日

### アンケート集計内容

- I アンケートの回収状況
- II 会員の意識
- III お客様の意識（個人・法人）
- IV 未発注者の意識（個人・法人）

## I アンケートの回収状況

アンケートの回収状況は、それぞれ以下のとおりでした。またセンターに期待していることや、貴重なご意見等が数多く寄せられました。

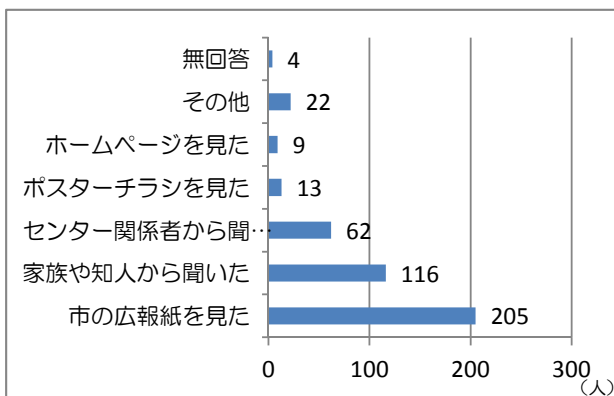


アンケート回収率

	会員	お客様 (個人)	お客様 (法人企業)	未発注者
発送数 (通)	699	700	430	699
回収数 (通)	418	227	265	227
回収率 (%)	59.8	32.4	61.6	32.5

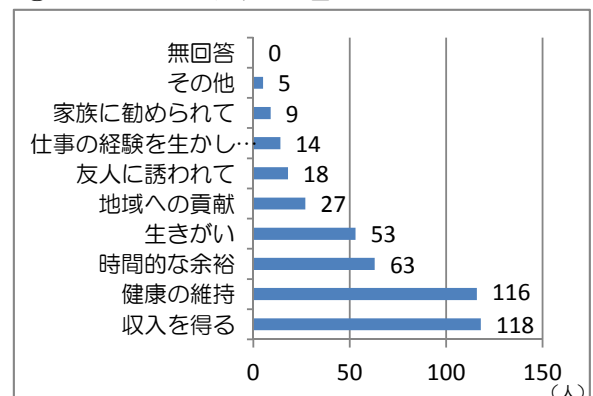
## II 会員の意識

### ①何をきっかけに入会したか



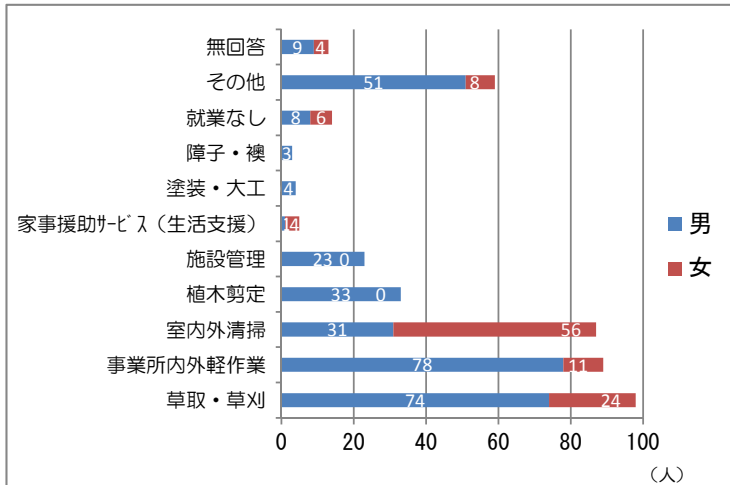
市の広報紙から、センターの存在を知った会員が、約半数を占めている。「市の広報紙」「家族や知人から聞いた」「センター関係者から聞いた」の3項目が431件中383件、全体の約90%になっている。

### ②センターに入会した理由は



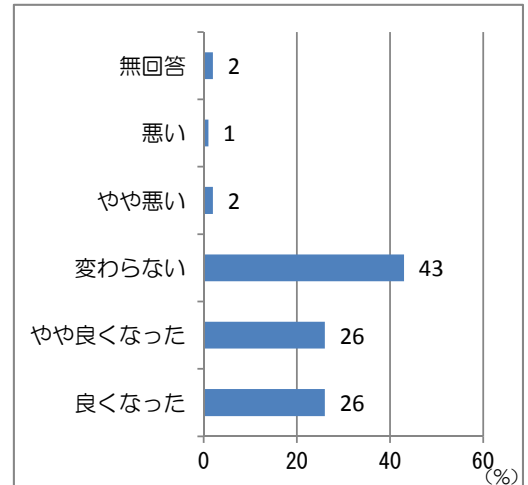
センターに入会した理由は「健康の維持」「収入を得る」「時間的な余裕」が423件中297件、約70%を占めている。

### ③入会后、どんな業務に就きましたか



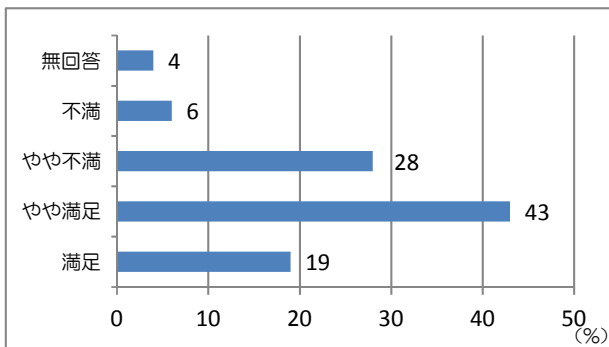
会員の就業先は多岐にわたっているが、当センターの就業先は、アンケート調査から見えるのは、「草取・草刈」「事業所内外軽作業」「室内外清掃」の3本柱が、427件中274件、約65%を占めている。

### ④入会後の健康面について



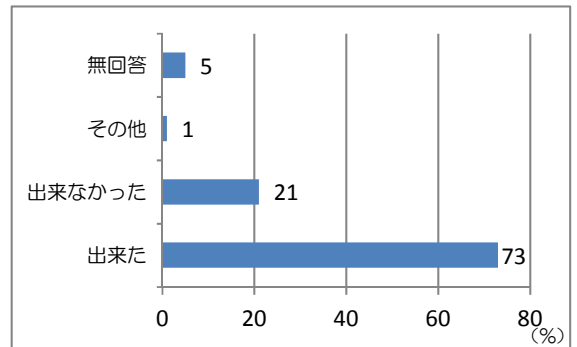
入会目的の最多項目の、入会後の会員の健康状態は、「良くなった」「やや良くなった」との回答が52%、「変わらない」が43%、「やや悪い・悪い」と回答した会員は無回答者を含めても5%となっている。

### ⑤収入についてどう思いますか



入会の目的の二番目に多い、収入についてのアンケート結果は、「満足」「やや満足」が全体の62%となっている。

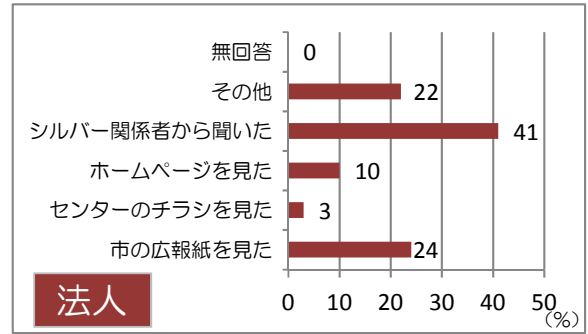
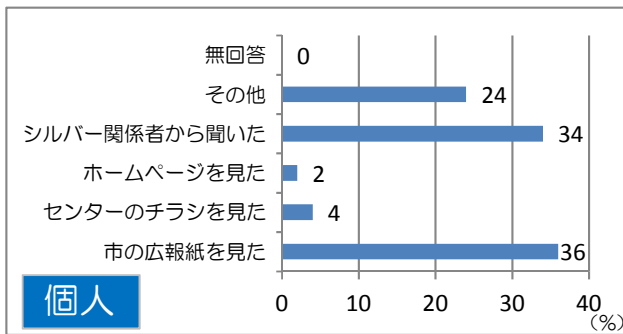
### ⑥入会后、友達はできましたか



センター入会により、全体の73%の会員が就業等を通じて、新しい友人ができています。

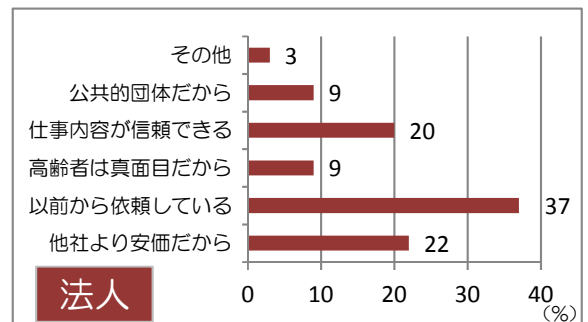
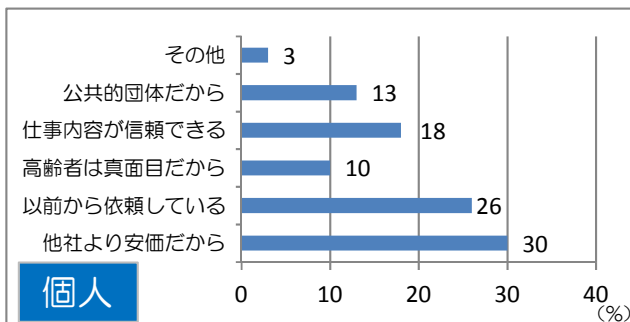
### Ⅲ お客様の意識（個人・法人）

#### ①センターを何で知りましたか



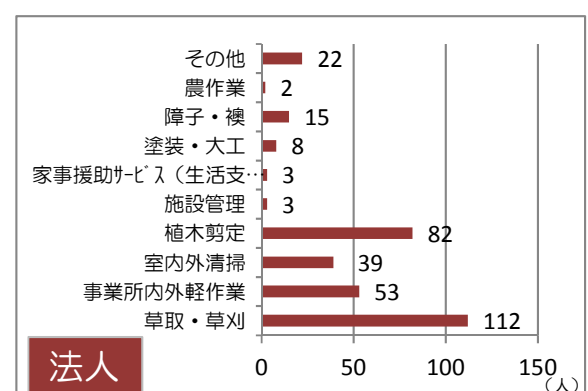
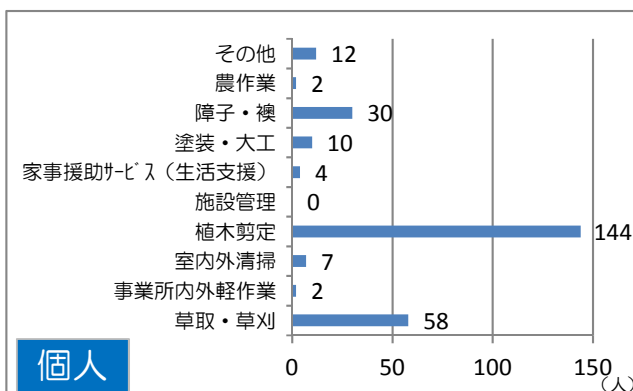
個人も法人も「センター関係者から聞いた」「市の広報紙を見た」が60%以上を占める。個人の回答では、市の広報紙が多く、法人の回答では、センター関係者が多く就業会員の存在が垣間見える。今後はホームページなどインターネット等を活用した情報展開やチラシ・ポスター・情報誌などの充実を進めるべきと考える。

#### ②センターに発注した理由は



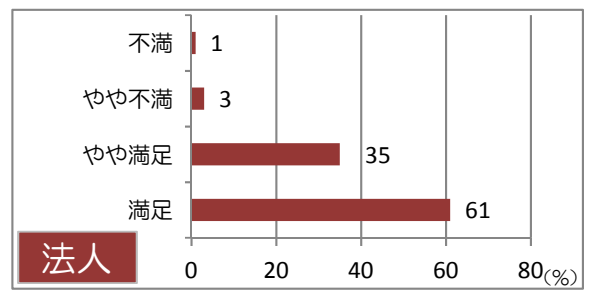
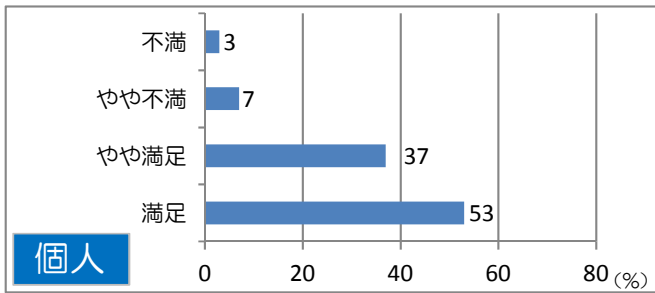
個人も法人も「以前から依頼している」「他社より安価だから」が50%以上を占める。個人の回答では、他社より安価が多く、法人の回答では、以前から依頼しているが多く継続契約の状況が確認できる。

#### ③どんな仕事を依頼されましたか



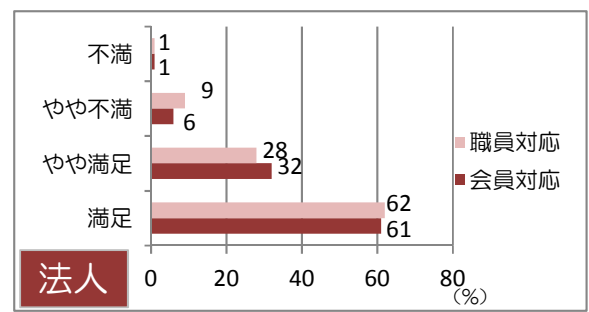
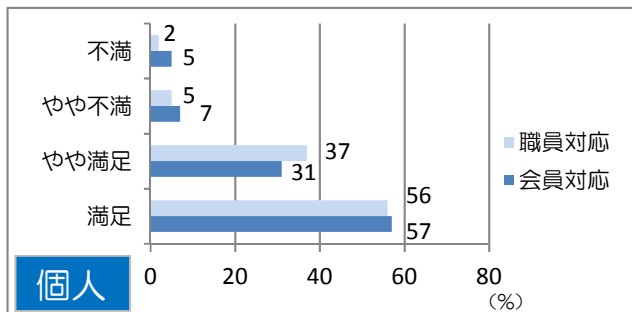
個人の回答では、植木剪定が最も多く、法人の回答では、草取・草刈が多い。就業開拓を推進することにより、今後は家事援助サービスや事業所内外軽作業が増えていくことも予想される。当面の課題として、植木剪定のできる会員が減少してきており、新会員の加入促進と後継者育成が急務である。

④センターの料金についてはどう思われますか

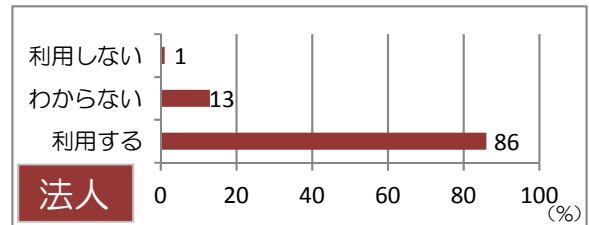
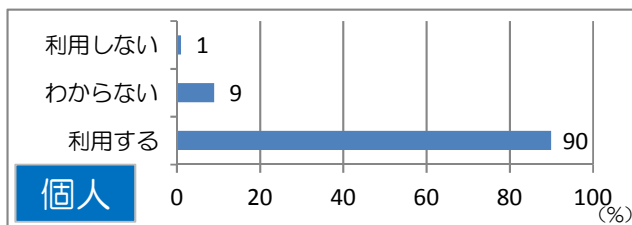


個人も法人も現状に対してほぼ満足いただいている結果ですが、今後は最低賃金や、経済状況の変化に対応した料金設定など慎重に検討し、対応していかなければならない。

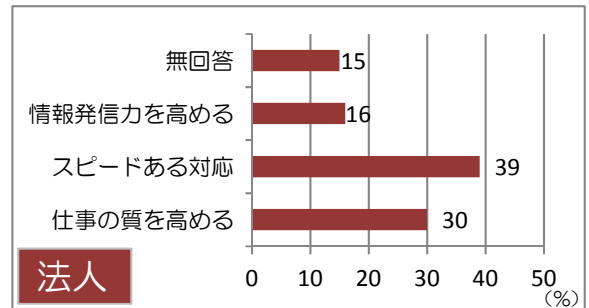
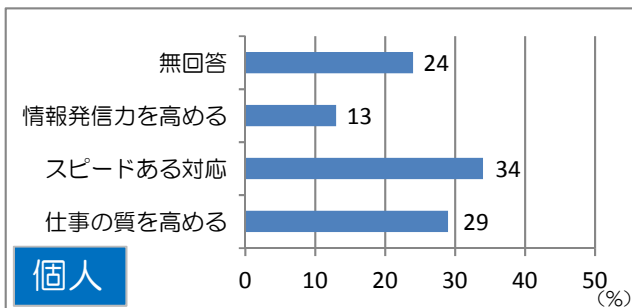
⑤就業した会員・センター職員の対応はいかがでしたか



⑥今後もセンターを利用すると思いますか



⑦センターへのご意見・ご要望をお聞かせください

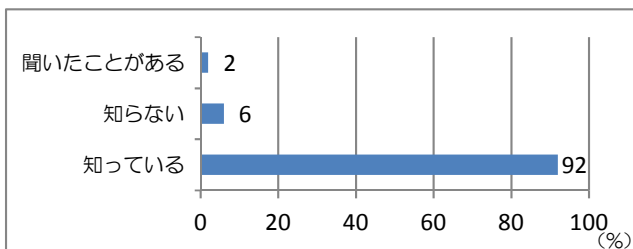


「会員・センター職員の対応」については、個人・法人ともにほぼ満足していただいている結果で、「今後もセンターを利用する」では8割を超えるリピート率である。「センターへのご意見・ご要望」ではスピードある対応が求められており、今後は業務フローの見直しや改善が急務である。

## IV 未発注者の意識

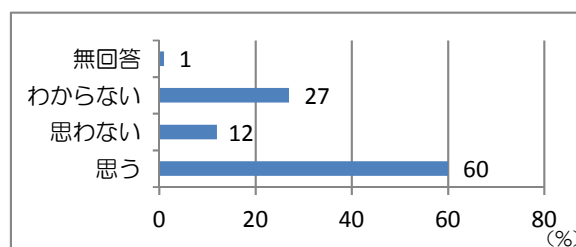
センターをまだ利用されていない未発注者様（個人・法人）をランダムに選出し、アンケートをお願いし、センターに対してどう思っているのかを調査した。

### ①センターをご存知ですか



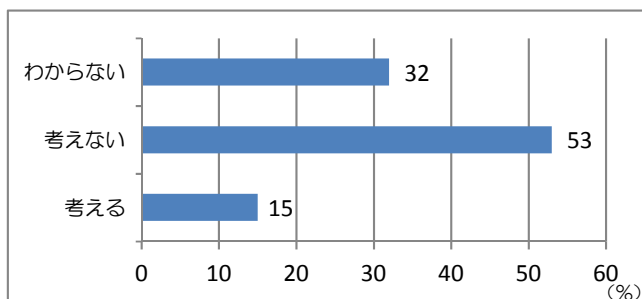
利用したことがないお客様でもセンターは地域に認知されていることがわかる。

### ②センターを利用したいと思えますか



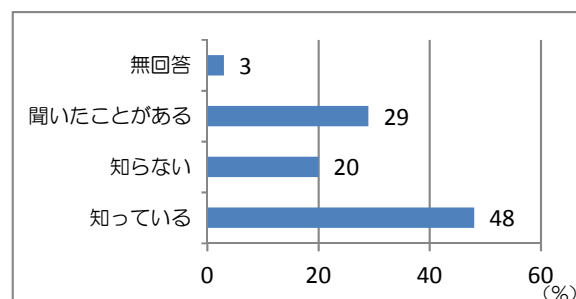
センターとしての認知度はあるが、実際利用したいと思う未発注者様は約6割である。この6割のお客様に仕事をご依頼いただけるよう、センターのイメージアップや情報発信を推進したい。

### ③将来センターへの入会を考えますか



これは個人の未発注者様に伺った設問でしたが、対象者の年齢構成が不明なので、実態が明確にはならないが、「考えない」が多いことから、センターとしてのイメージ課題は残るものと思われる。

### ④シルバー派遣業務をご存知ですか



これは法人の未発注者様に伺った設問でしたが、「シルバー派遣事業」についての認知度は高い。この数値を反映できるセンターの体制づくりが急務である。

## 中・長期計画検討委員会設置要綱

### (目的)

第 1 条 社会経済状況の変化に的確に対応した安定的な運営と魅力ある事業を展開し、公益社団法人加須市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の発展を目指すべく中・長期計画を策定するため、中・長期計画検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌)

第 2 条 委員会は次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 中・長期計画の目標値の設定及び見直しに関する事項
- (2) 施設整備計画の策定に関する事項
- (3) その他情報収集等に関する事項

### (委員)

第 3 条 委員会の委員は 10 人以内として、次の者をもって構成する。

- (1) センター役員 若干名
- (2) 有識者 若干名
- (3) センター職員 若干名
- (4) その他理事長が必要と認めた者

2 委員は理事長が委嘱する。

3 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の中から互選する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (任期)

第 4 条 委員の任期は、計画の策定が完了するまでとする。

2 委員が欠けた場合は、その都度理事会の承認のうえ委員を補充する。

### (会議)

第 5 条 会議は必要に応じて委員長が招集する。

2 会議の議長は委員長があたる。

3 委員長は必要に応じて委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

### (庶務)

第 6 条 委員会の庶務は、センター事務局があたる。

### (その他)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附則

この要綱は、平成 27 年 7 月 1 日から施行する。



## 中・長期計画策定の経過

年 月 日	会 議 等	内 容
平成27年6月30日	第4回 理事会	中・長期計画検討委員会設置要綱（案）
平成27年7月17日	第1回中・長期計画検討委員会	中・長期計画検討委員委嘱について 委員長、副委員長の互選について 中・長期計画検討スケジュールについて
平成27年7月28日	第5回 理事会	中・長期計画検討委員会構成委員 中・長期計画検討スケジュールについて
平成27年8月10日	第2回中・長期計画検討委員会	中・長期計画アンケートの設問等について
平成27年8月27日	第6回 理事会	中・長期計画アンケート実施状況について
平成27年9月18日	第3回中・長期計画検討委員会	中・長期計画アンケートの集計結果について 中・長期計画基本目標について
平成27年10月21日	第4回中・長期計画検討委員会	中・長期計画アンケート調査報告書について 中・長期計画 現状と課題について
平成27年12月2日	第5回中・長期計画検討委員会	財政計画について 中・長期計画基本目標について
平成27年12月25日	第6回中・長期計画検討委員会	中・長期計画基本目標について
平成28年1月29日	第7回中・長期計画検討委員会	中・長期計画基本目標について
平成28年2月29日	第8回中・長期計画検討委員会	中・長期計画基本目標について
平成28年3月24日	第13回 理事会	中・長期計画策定の経過報告について
平成28年3月29日	第9回中・長期計画検討委員会	中・長期計画基本目標について
平成28年4月26日	第10回中・長期計画検討委員会	中・長期計画基本目標について
平成28年4月28日	第1回 理事会	中・長期計画の経過について

## 中・長期計画検討委員会委員名簿

職名	氏 名	役 職
委員長	高 野 勝 良	公益社団法人 加須市シルバー人材センター 理事長
副委員長	熊 倉 敏 雄	加須市元副市長
	窪 川 真 治	公益財団法人 いきいき埼玉 高齢者就業促進課長
	肥田野 勉	公益社団法人 加須市シルバー人材センター 副理事長
	狩 野 隆 治	公益社団法人 加須市シルバー人材センター 理事
	藤 原 豊	公益社団法人 加須市シルバー人材センター 理事 (加須市 経済部長)
	野 本 政 之	公益社団法人 加須市シルバー人材センター 常務理事 兼 事務局長

事務局	柿 沼 和 宏	公益社団法人加須市シルバー人材センター 主任
事務局	清 水 悟	公益社団法人加須市シルバー人材センター 主任

